



マステ製作ノート

Presented by HIROMARU PROJECT (2022.6)



目次

表紙	P.1	
1) マステ製作スケジュール	P.2	
2) 様々なマステの形態について	P.3	
3) 制作会社の違いについて	P.4	
4) 便利なツールについて	P.6	
5) その他	P.7	
6) さいごに	P.7	

※本資料をご高覧・ご使用いただくにあたってのお願い※

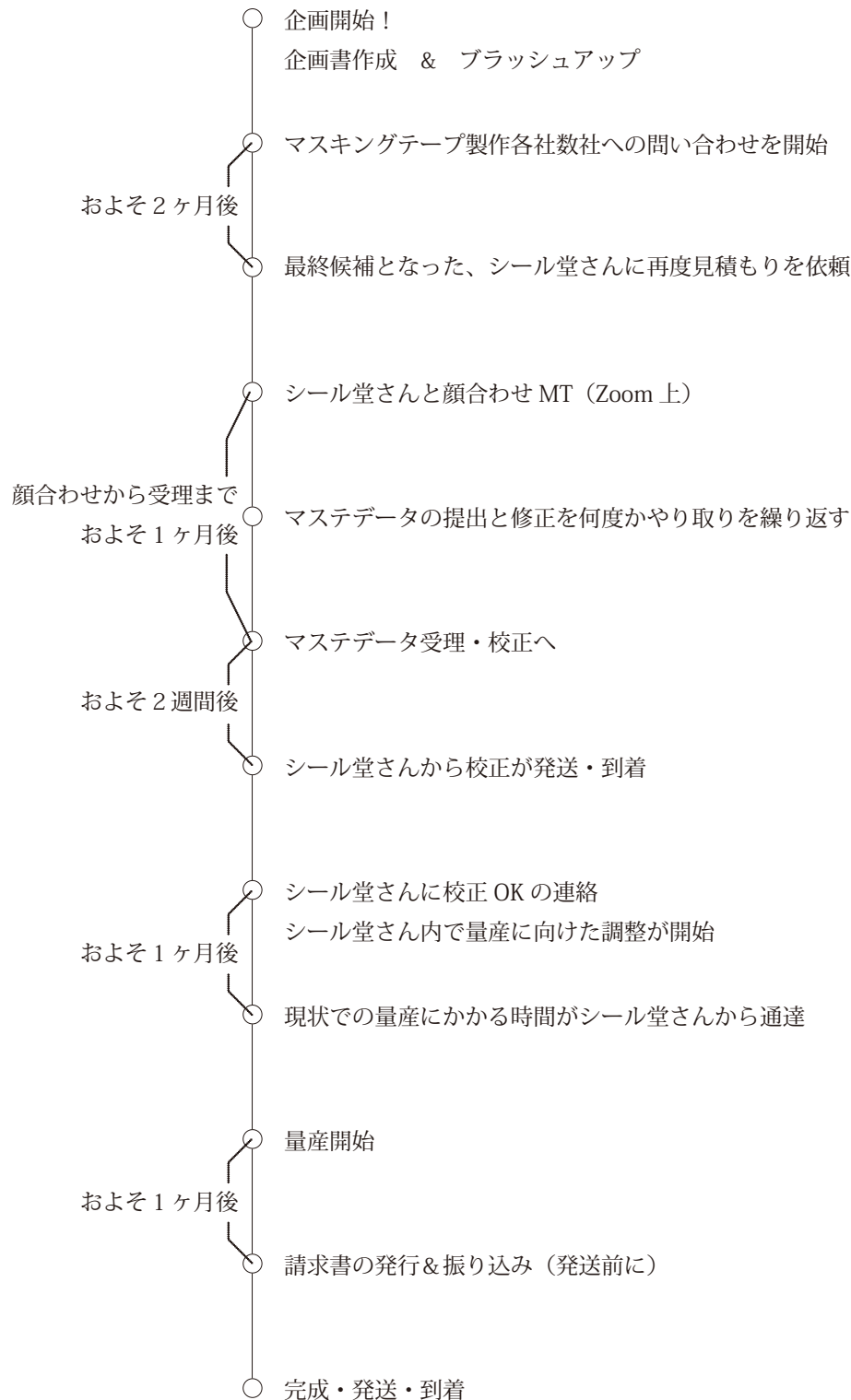
こちらの『マステ製作ノート』は『おてら na マステ』製作時の私たちの経験をまとめたものです。ツール製作の一步目のハードルが少しでも下がること、そして、ツールづくりの輪が広がっていくことを願って、作成・公開いたしました。記載した内容はあくまで製作当時のことであり、現在の状況と変わっているところもあることと思います。ご理解の上、ご高覧・ご使用いただきますようお願い申し上げます。この『マステ製作ノート』が皆様の取り組みにおける一助となりましたら幸いです。

(©HIROMARU PROJECT 2022)

1) マステ製作スケジュール

マステの製作には半年程の時間が必要になりました。

その時の状況によって変化するものではありませんが、大まかなイメージを以下に示します。



2) 様々なマステの形態について

現在、市場で見られるマスキングテープのバリエーションはとても豊かです。



ペリペリと1枚ずつ剥がして使うもの



通常幅（15mm）よりも太かったり細かったりするもの



薄くてちぎりやすいもの



箔押しがされているもの

他にも、

- ・上下がデザインカットされたもの
- ・地が透明のもの（ただし手でカットすることはできない）
- ・レース状になっているもの
- ・全体の長さが長いものや短いもの（5m 巻、7m 巻、10m 巻など）

などなどがあります。

あらゆる形態のものが注文できるかといえばそうではありませんが、それでも、オリジナルのマステ製作においては色々選ぶことができます。

追加の加工を施すとその分費用は上がってしまうため、イメージと予算との調整が必要になりますが、お好みのマステを製作することが可能です。ちなみにですが、製作会社によって依頼できる加工が異なっていました。

例) 可能な加工と製作会社

- ・ペリペリと1枚ずつ剥がして使うもの→「bande」（現在は「bande」のみとのこと）
- ・レース状になっているもの→「タニダ株式会社」
- ・箔押しがされているもの→「タニダ株式会社」、「シール堂印刷」

3) 製作会社の違いについて

マステの製作会社は様々で、前述した「追加の加工の可否とその費用」という点の他にも、相違点がありました。サンプルを取り寄せたり、購入したり、問い合わせたりしていくつかの会社を比較するなかで私たちが感じた違いを少しご紹介します。

(Ⅰ) 発色の違い

マステの素材が和紙であることから、印刷された色味は暗くなる&輪郭が馴染むといった傾向を感じるなかで、鮮やかな表現がなされている印象だったのは「mt」（カモ井加工紙株式会社）のマステでした。

(Ⅱ) 手触りの違い

会社の違いというよりも品物の違いかもしれませんが、和紙っぽいザラザラ感のあるものもあれば、上に何かが塗られているようなツルツル感の強いものもありました。貼るという点からはザラザラでもツルツルでも差異はないと思いますが、ちぎって使うなど、手で直接触れることの多いマステだからこそ、手触りの違いが気になりました。

(Ⅲ) 巻数の割り振りの可否

マステに限ったことではありませんが、注文するロット数が多ければ多いほど、1本あたりの値段(単価)は下がります。「同じ柄が大量にあっても困る」というときに便利なのが、「巻数の割り振りをできるかどうか」ということです。

例えば、「1000巻（ロット）注文をする」というときに、「1000巻（ロット）は1つの柄でなければならない」のか、「250巻（ロット）ずつ4種類の柄を注文することで合計1000巻（ロット）としてもらえる」のかというイメージです。

この度の製作では、最初に「してほしい加工があるかどうか」で製作会社の絞り込みをしていたため、問い合わせをしていたすべての会社に聞いたわけではありませんが、巻数の割り振りについて「mt」は不可能、「タニダ株式会社」と「シール堂印刷」は可能ということでした。

(Ⅳ) パッケージの種類

マステの包装は透明フィルムで1つ1つ包む形を基本とし、会社によっては、台紙あり、蓋付きケース、まとめて包装が選べました。（それぞれにかかる費用までは問い合わせしていないためわかりません。）ちなみにですが、包装のバリエーションが最も豊かなのは「タニダ株式会社」、続いて「bande」、そして「mt」でした。

(Ⅴ) ピッチの長さ

ある程度の長さのデザインが何度も繰り返されることで数mのマステとなります。この繰り返される長さ（ピッチの長さ）が会社によって少しずつ異なっていました。この度は特に注目しませんでした。デザインによっては注意が必要かもしれません。（指定されている長さを変更する場合には、追加で費用がかかることもあるようです。）ただし、1つの制作会社のなかでも、追加の加工によって指示されるピッチの長さが変わることがあるので、その点は要注意&要確認です。例）「シール堂印刷」のピッチの長さは通常250mmであるが、箔押しをする場合は150mmとなる。

VI) デザインをともに考えてもらえるかどうか

こちらでデザインしたものを入稿する会社と、デザインからともに考えてもらうこともできる会社がありました。デザインは苦手、イラストレーター等のソフトを使うのが難しい（製作会社からテンプレートファイルはもらえます）、初めての製作でよくわからないなどの場合には、その分の費用はかかってしまうと思うのですが、プロにお願いできることは心強いと思いました。

ちなみにですがこの度は、デザインしたものを入稿する形での依頼となりましたが、初めてでわからないことばかりで不安でした。そのため、校正後の修正が生じないように（費用と時間の節約）校正前に詳細なチェックをしていただくようお願いをしました。先方は経験を重ねたプロなので、不安なことなどを細かく正直にお伝えすることでよりよい道が見えるのではと思います。



4) 便利なツールについて

この度のマスキングテープ製作は、いくつかのツールを用いて進めてきました。

頻繁に会議をすることも大切ですが、効率的にかつ現在進行形でプロジェクトを進めるために「それぞれの都合の良い時に確認できるツール」があることは便利であり重要であると実感しました。 どのようなものかと言えば、スケジュールの管理ツール、ファイル等を共有するためのツールなどです。それぞれのツールには様々な機能があるため、完全に使いこなせているかといえば決してそうではありませんが、今回初めて使用してみたものも含め、便利なツールをいくつかご紹介します。

(I) google drive

様々な資料の共有やリアルタイムでの共同編集ができるオンライン上のツールです。無料でアカウントの作成ができ、容量に合わせた有料プランが選択できます。ファイルをストックできるため重宝しています。

(II) LINE、Facebook メッセンジャー

連絡手段として使用しているツールです。サイズの小さいファイル等の共有もしていますが、大きなファイルの送受信やストックしたいものの共有にはあまり用いません。

(III) Zoom

オンラインでの打ち合わせの際に用いるツールです。打ち合わせの録画(記録)や、チャット上でのファイルの共有、背景の変更なども簡単にできます。

(IV) Word Press

Webサイト作成ツールです。『おてら na マステ』について発信しています。サーバーやテーマ、ドメインなどの準備には別途費用が必要となりますが、それでも、Webサイト作成会社に依頼するよりも費用をおさえてサイトを作成できます。エフェクトの追加など「プラスα」をするためには色々と操作も必要となるため、現在、試行錯誤しながら進めています。

(V) Facebook

こちらも『おてら na マステ』について発信しているツールです。Webサイトよりも、すぐに繋がりのある方や興味を持ってくださる方に向けて発信することが得意なものです。

(VI) JOTO

このたび初めて導入したタスク管理ツールです。ガントチャートも簡単に作成できるため、スケジュール管理にも便利です。登録可能な人数の制限等がありますが、無料で始めることができます。

5) その他

(I) 検索ワードについて

「マステ（マスキングテープ）」として調べていましたが、「マスキングシール」と検索したときにも、通常のマステと同じ巻いた形での品物が出てきました。イメージに合うものがない場合は、「マスキングシール」と検索してみてもいいかもしれません。

(II) 納期について

年末年始&夏季などの休業や忙しさ（繁忙期）、紙管への印刷の有無や加工の有無によって納期が変動します。余裕をもって注文することと、いつまでにほしいということを先に相談し制作会社とともにスケジュールを立てておくことも、スムーズな進行のために大切なことかもしれません。

(III) 納品について

1200 巻のマスキングテープの納品サイズは、幅約 54cm × 奥行き約 27cm × 高さ約 43cm、重さ約 14kg のダンボール 1 つでした。

6) さいごに

ここまで『おてら na マステ』のマスキングテープに関する内容をまとめさせていただきました。すぐに役立てていただける場面があるかどうかはわかりませんが、何かの一助となり、「仏教的あそびツール」の輪が広まりましたら幸甚です。

また、繰り返すとなり恐縮ですが、本資料はご自身のみでご高覧・ご使用いただきますよう、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、この度は『おてら na マステ』を製作して、仏教的あそびツールを弘めたい！」をご支援いただき、ありがとうございました！

今後とも、HIROMARU PROJECT をよろしくお願い申し上げます。

【Special Thanks】

携わってくださった皆さま

ご支援くださった皆々様



HIROMARU PROJECT Web サイト：<https://hiromaru.fun>